



しもんchuも 下妻のいちごで
「お・も・て・な・し」

発行/下妻市・総務部市長公室 0296-43-2111
〒304-8501 茨城県下妻市本城町2-22
印刷/坂入印刷所

URL <http://www.city.shimotsuma.lg.jp/>
E-mail info@city.shimotsuma.lg.jp
広報しもつまは、資源保護のため再生紙を使用しています。



第43回

砂沼桜まつり

4月6日(日) 午前9時30分〜 観桜苑会場・砂沼南岸会場



夜桜ライトアップ

【観桜苑会場】
砂沼一周歩こう会
カラオケ大会
砂沼さくら市(バザー・マルシェ)
赤ちゃんハイハイ競争
売店など

【砂沼南岸会場】
ものまね芸人ライブ
お囃子などのステージ演奏
ビンゴ大会
売店など



4/6日 砂沼桜まつり (観桜苑会場)

4/6日 砂沼桜まつり (砂沼南岸会場)

4/13日 多賀谷時代まつり

【問い合わせ(両イベント共)】
下妻市産業振興課
0296-43-2111(代)

武者大名行列



4月13日(日) 午前10時〜 多賀谷城跡公園

多賀谷時代まつり 第8回



【イベント】
甲冑姿での火縄銃の砲術演武、武者大名行列、お囃子などのステージ発表
万燈神輿や山車の練り歩きなど



124年の歴史に幕 さよなら、蚕飼小学校。

蚕飼小学校が平成26年4月から宗道小学校と統合します。
蚕飼地区のコミュニティの拠点であり、124年の歴史を重ねてきた蚕飼小学校の閉校を、地域の方や保護者、先生、児童の思いを交えて紹介します。



50型モニターを使つての学習発表会



平成25年度運動会の準備体操と昭和46年建築の現校舎

輝かしい歴史と伝統も、急速な少子化の波に

蚕飼小学校は、明治22年、蚕飼尋常小学校として華蔵院を仮校舎に開校。以来、昭和・平成の市町村合併を経て、平成18年1月1日からは下妻市立蚕飼小学校として歩み、124年という永い歴史の中で2,800人を超える卒業生を輩出してきました。

この間、昭和52年には「学校給食指導優良校」として文部大臣賞受賞、昭和54年には「学校安全教育優良校」として茨城県教育長賞受賞、平成元年には「文部省指定道徳教育推進校」として茨城県教育委員会より表彰されるなど、輝かしい歴史と伝統を、保護者や地域とともに築いてきました。



木造の旧校舎（明治44年建築）



体育の授業（昭和30年代）



音楽会（昭和30年代）



昭和20年代の航空写真（写真上は蚕飼中学校、下が蚕飼小学校）

しかし一方で、急速な少子化の波にのまれ、児童数は減少の一途をたどることになりました。昭和20年頃には280人を超える児童が在籍していたものの、平成4年度には100人を切り、平成12年度に初めて1クラスが複式学級に。現在は児童38名で、「3・4年生」と「5・6年生」の2クラスが複式学級となっています。

これからも地域の一員として子どもたちを見守りたい

私も、子どもも蚕飼小学校を卒業し、蚕飼地区のシンボルとなる蚕飼小学校がなくなることは感慨深いものがあります。新年度から宗道小学校へ通う子どもたちや保護者には不安と期待があると思いますが、統合が良い方向に動いてくれることを切に願います。これからも地

Interview



蚕飼地区・代表区長 鈴木 徹さん

2年前の地域住民説明会で蚕飼小学校の閉校の話聞いたときには反対もし

残された施設を地域のために有効利用を

たが、人口減少や少子化の時代の流れで、大勢の中で切磋琢磨するなどの良い環境が子どもたちのためになるならやむを得ないという思いになりました。

残された施設は、若い世代から高齢者まで多くの意見を聞き、地域のために有効利用されることを願っています。

私

も、子どもも蚕飼小学校を卒業し、蚕飼地区のシンボルとなる蚕飼小学校がなくなることは感慨深いものがあります。新年度から宗道小学校へ通う子どもたちや保護者には不安と期待があると思いますが、統合が良い方向に動いてくれることを切に願います。これからも地



蚕飼小学校PTA会長 塚越 努さん

Interview

蚕飼小学校 沿革概要

明治
6年 豊田郡鯉村に呑舟学校あり、同村華蔵院をもつてこれにあてる
22年 蚕飼尋常小学校となり、華蔵院をもつて仮校舎とする
44年 現校舎に移る（木造校舎新築）
49年 蚕飼尋常高等小学校となる
昭和
16年 蚕飼国民学校となる
22年 蚕飼村立蚕飼小学校となる
30年 町村合併により千代川村立蚕飼小学校となる
46年 鉄筋2階建新校舎竣工・音楽室増改築竣工
47年 プール竣工
平成
52年 屋内体育館竣工
63年 特別教室3階建校舎増築竣工
元年 校歌碑完成（卒業記念事業）
創立100周年記念日（航空写真撮影10月13日）



26年 3月22日 下妻市立蚕飼小学校閉校式・感謝の集い
3月31日 下妻市立蚕飼小学校閉校
18年 市村合併により下妻市立蚕飼小学校となる
10年 教育用パソコン設備設置
6年 校内テレビ放送設備設置

124年の歴史に感謝と 新しい未来へ向けて



蚕飼小学校
校長 枝 隆夫

生の綱引き「ようこそ先輩」、お父さん方と消防団の方の綱引き「パワフルお父さん」など、楽しく地域と一体感のある運動会を実施してきました。保護者、地域の皆様方の心温まるご尽力とご労苦に、心より感謝申し上げます。

本 校は、明治22年7月2日に創立し、平成25年に124年を迎えました。この度、

下妻市立幼稚園及び小中学校適正規模適正配置計画により平成26年3月に閉校となります。その間、地域に愛される学校として存在してきました。特に、運動会では老人会と1年生から3年生の玉入れ「孫に手を引かれて」、中学生と在校

「希望に胸をはずませてみんな仲良く学びましよう」

楽しかった蚕飼小



蚕飼小学校6年
内田 響さん

休 み時間に、異学年の友達と遊んだこと、全校児童で行った全校給食やこいまつり、音楽会、みんな楽しい思い出です。中でも、最後の運動会では、七色の記念火花があたり、地域の方たちと一緒に集合写真を撮りました。どれも忘れられない大切な思い出です。

宗道小でがんばるぞ



蚕飼小学校5年
中村 壮志さん

宗 道小に行ったら、たくさん友達を作りたいです。早く友達の名前を覚えて、仲良くなりたいです。ほくは、読書が好きなので、宗道小にはどんな本があるのか、楽しみにしています。そして、最高学年として、みんなのお手本になれるようにがんばりたいです。

蚕飼小学校 校歌

作詞 戸恒 恒男
作曲 高橋 正夫

水はさらさら小貝川
すくすく伸びる若草の
希望に胸をはりませ
みんな仲良く学びましよう

ひろくゆたかな黒土に
仰ぐ青空どこまでも
自主のこころをたかだか
みんな手を組み進みましよう

高く澄みゆく筑波根よ
時のながれをいつまでも
若いのちのひたすらに
みんな元気に努めましよう

地域とともに歩んだ蚕飼小学校
たくさんさんの感動をありがとう

新学期から スクールバスで登下校

蚕飼地区の児童は、平成26年4月の新学期から宗道小学校に通学することになります。

登下校は、児童の安全確保の観点から、市が運営するスクールバスで、蚕飼地区内4か所（亀崎生活改善センター！蚕飼小北側・リフレこかい・魚徳駐車場）に設けられたバス停と千代川リサイクルセンター間をバスで移動し、千代川リサイクルセンターと宗道小学校間の約300メートルを徒歩（通学班）で移動します。

学校跡地の有効利用

これまでの地域での説明会や統合準備会では、残された校舎や敷地など跡地利用についても多くの意見が寄せられ、関心の高さがうかがわれます。

市では、閉校を前に、蚕飼地区の自治区長や地区代表、市議会の代表、関係団体の代表、行政機関の職員等で構成する「蚕飼小学校跡地利用検討委員会」を設置し、敷地や施設などの有効な利用方法について検討を進めていきます。



民間自治
功労者表彰

故 山内 光洋さん
(大宝)

山内さんは、昭和54年から平成25年までの34年余りの永きにわたり大宝保育園の開園当初から園長として「一人ひとり違うことが個性。みんな違って、みんないい」という保育理念のもと、「自立できる子ども」の育成に尽力されました。

また、下妻市総合計画審議会会長や下妻市観光協会会長など、当市のまちづくりを推進する要職を歴任し、地方自治の発展に貢献された功績が認められ、茨城県市長会から民間自治功労者表彰を受章されました。



消防長官表彰・
永年勤続功労章

高橋 周一さん
(宗道)

下妻市消防団副団長の高橋さんは、昭和54年から35年余の永きにわたり地域での消防活動に取り組んでこられました。災害現場においては消防業務に精通するとともに、強固な責任感と的確な指示で団員を統率し、指導者としての功績が称えられ、消防庁長官から永年勤続功労章を受章されました。

有料広告欄

税の意義や役割を正しく理解
—小中高等学校で租税教育を推進—

次代を担う児童・生徒の皆さんに、私たちの暮らしを支えている税の意義や役割を知ってもらい、納税の義務を正しく理解してもらおうと、税務署、県税事務所、市町の税務担当や税理士会などで組織される下館税務署管内租税教育推進協議会では、管内の小中高等学校に講師を派遣して「租税教室」を開催しています。

当市では、平成25年9月25日から平成26年1月22日にかけて、市内小学校10校では県税事務所と市税務担当職員、中学校3校では税務署職員、高等学校2校では税理士が講師となり、税金の種類や使い道、必要性をクイズ形式や租税教育用ビデオ上映などで分かりやすく、熱心な授業が行われました。

大宝小学校の6年生33名を対象に開かれた1月22日の租税教室では、市収納課の職員が講師となり、身のまわりにある施設に税金が「使われている」「使われていない」かの仕分けに児童たちが挑戦。仕分けの後には「税金のない暮らしと、税金がある暮らしがどう違うか」を比較したビデオを視聴して答え合わせをし、公共施設と営利目的の施設の違いや税金の使われ方をみんなで確認しました。

児童からは「学校や道路など身近な公共施設が税金でつくられていることを知り、大切に使わないといけないと思いました」などと感想があり、税金の必要性をしっかりと感じた様子でした。



税金の使われ方を考える児童たち（大宝小学校で1月22日）

有料広告欄

消費生活市民講座
「テレビでは教えてくれない『食品表示』のうそ?ホント!」を実施

市民の消費者としての自立を支援する「消費者教育」の一環として、食品問題の専門家としてテレビなどで活躍する消費者問題研究所代表の垣田達哉氏による「テレビでは教えてくれない『食品表示』のうそ?ホント!」というテーマの講演会を2月16日、千代川公民館ホールで開催し、市民など約100名が参加しました。

垣田先生は、食品偽造の背景には会社の利益追求や、あいまいな法律と罰則がないことによる業界の甘さが生んだ問題があること。牛レバーや成型肉など生で食べる大腸菌の危険性、エサに着色料が使われている加工食品と添加物、健康食品の誇大広告の問題視など、身近な食の問題とその対応策を軽快な口調で話し、「口に入るものだから、まず『食品』に関心を持つことが大切。関心を持てれば注意できる。いいものを選んでほしい」と強調しました。

参加した70歳代の女性は「いままでの買い物では、消費期限ぐらいしか見ていなかったが、これからは細かい成分表示も見るようにしたいと思った。食品だ

けでなく、口紅などの化粧品も気にしていきたい」と話していました。

また、市立図書館では、この消費生活市民講座に関連して「食の安全」をテーマにした図書を選び、貸し出しコーナーを設けていますのでぜひご利用ください。



原材料の表示の見方などを詳しく説明する講師の垣田氏

3/30 下妻市長選挙の投票日です

任期満了に伴う下妻市長選挙が行われます。
投票所に足を運び、あなたの大切な一票を生かしてください。

■告示日（立候補届出受付）

日時 3月23日（日）午前8時30分～午後5時
場所 市役所本庁舎 3階 大会議室

■期日前投票

日時 3月24日（月）～29日（土）午前8時30分～午後8時
投票所 市役所本庁舎 1階 市民ホール・千代川庁舎 1階 ホール
※どの投票所でも投票できます

■投票日

日時 3月30日（日）午前7時～午後6時
※午後6時で投票所が閉鎖されますのでご注意ください

投票所 市内31投票所
※投票所は、選挙管理委員会が発送する「投票所入場券」をご覧ください
※投票所が分からない場合は、市選挙管理委員会へお問い合わせください

■開票

日時 3月30日（日）午後7時15分～
開票所 市役所本庁舎 1階 市民ホール

問い合わせ
市選挙管理委員会（総務課内）
☎内線1242



◀ 明るい選挙推進協会会長・
都道府県選挙管理委員会連合会会長賞
千代川中学校2年 程山 亮太さんの作品

この賞は、平成25年度明るい選挙啓発ポスターコンクールでの審査において、全国応募総数145,257点の中から、優れた作品60点に贈られたものです。

有料広告欄

有料広告欄



六芳園で建築士の説明を受ける参加者たち

下妻の中心市街地のまちなみを歴史的資産と捉え直し、回遊型のまちづくりを提案することで観光などにつなげようと茨城県建築士協会が主催した「建築士さんと歩くまちなみ探検」に、市内外から親子連れや観光客など116名が参加しました。

出発前に光明寺で開かれたオリエンテーションでは、筑波大学の藤川昌樹教授から「観光地に行くとは何でもよく見るが、普段の生活の中では見ていない。今日はよそ者の目でまちなみや建物を見てほしい」とアドバイスを受け、その後8班に分かれてまちなみ探検に出発。上町の六芳園（昭和2年建築）や西町のピンフォールド邸（大正12年建築）など10か所以上の歴史的建物や下妻街道沿いのまちなみなどを歩いて楽しみました。

参加者からは「車だと通り過ぎるだけだったが、歩くといろいろなものが見えてきた」などとグループ発表がありました。

歴史的建築物を生かしたまちづくりを考える

建築士さんと歩くまちなみ探検

市内公民館や市民センターを利用する団体・サークルの日ごろの成果の発表と交流の場となる「第14回公民館まつり」が2月21日～23日の3日間、下妻公民館と市民文化会館で開催され、延べ1,500人が会場を訪れました。

歌やダンスなどの「発表部門」のほか、写真や絵画、陶芸、生花など力作ぞろいの「展示部門」、菓子作りやおりがみ、健康法など体験を通して学ぶ「体験部門」に、子どもから高齢者まで一緒に参加し、交流を楽しみました。

おりがみ教室に参加した小学2年の女子児童は「学校ではおりがみは教えてくれない。やさしく、わかりやすく教えてもらえて、楽しくピカチュウが作れた」と笑顔で話してくれました。



子どもから高齢者まで一緒に楽しむ「おりがみ教室」

利用者の笑顔が映える公民館まつり

第14回公民館まつり



水面に優雅な姿の白鳥たち

砂沼の観桜苑周辺で4羽の白鳥が見られ、近隣住民や砂沼を散策する人たちの目を楽しませています。

白鳥が見られるようになったのは1月28日ごろからで、オレンジ色のくちばし上部の付け根に、黒いこぶのようなものがあることから「コブハクチョウ」と思われます。

砂沼周辺での散歩を日課にしている60歳代の女性は「以前、砂沼に白鳥が来たのは5年以上も前のこと。今回の4羽は、人を見ても怖がらずに近寄ってくるんです」と話していました。

白鳥を見かけたときは、そっと見守ってあげてください。

砂沼湖面を悠々と泳ぐ白鳥たち

砂沼に白鳥4羽が飛来



Town Topics



浦安市とマラソンで市民ランナー交流

第23回東京・ベイ浦安シティマラソンで市民交流

災害時の相互応援協定の縁により始まった浦安市との市民交流事業で、2月2日の「第23回東京ベイ浦安シティマラソン」に下妻市民37名が招待されました。

マラソン日和に全国から5,495人のランナーが集まり、下妻市民は舞浜ホテル群周辺の海岸沿いを走る8キロメートルの部（B）で参加者全員が完走。気持ちのいい汗をかきながら走りを楽しんでいました。

一般39歳以下の女子の部で見事6位入賞を果たした鈴木紗彩さん（下妻丙・大町）は「初めての参加で8キロメートルは長かったが、自分のペースを保てた。沿道からたくさん声をかけてもらい頑張れた。来年は表彰台を目指したい」と笑顔で意気込みを話してくれました。



ゴール間際、浦安市運動公園内を力走する下妻市民ランナー



大宝八幡宮（2月3日・昼の部）



愛宕神社（2月2日）

福を呼び込む節分祭

市内各所で節分の「豆まき」

新春を迎える節分の恒例行事「豆まき」が2月2日から13日までの間、市内各所で行われ、厄を祓って福を呼び込もうと大勢の人でにぎわいました。

今年は、市内の節分祭をきっかけに、下妻の観光や物産を広く知ってもらおうと、5か所の神社や節分祭を回って、3か所以上のスタンプを集めると、抽選で下妻市観光協会の商品券が当たる「しもつませつぶんスタンプラリー」が実施され、訪れた参拝客が社務所でスタンプを押す姿が見られました。



高道祖神社（2月13日）



下妻神社（2月3日）



買い物客で賑わう下妻市の特設ブース

新規就農者が東京都足立区で野菜を直売

北千住宿場町通り商店街のイベントに参加

下妻市の新規就農者自らが2月1日、丹精込めて作った野菜を東京都足立区で直売しました。

江戸時代、北千住から下妻を通り栃木県の喜連川までを結ぶ「下妻街道」の縁により交流のある「北千住宿場町通り商店街」からLED街路灯完成記念の商店街イベントに参加要請があったものです。

下妻から持ち込んだ採れたてのねぎ、かぶなどの野菜各種といちごの直売は「とても新鮮だ」と大好評で、参加した30歳代男性の新規就農者は「小売りの経験がなかったので楽しかった。作った野菜がお客さんに喜んで買ってもらえて農業への意欲がわいた」と話していました。

商店街の役員からは「毎年様々に企画を変えてイベントを実施している。下妻市は2回目の参加となるが、また参加を呼び掛けたい」と盛況ぶりを喜ぶ話が聞けました。

カルタ遊びで環境問題を学ぶ「しもつま環境カルタ大会」

市民、事業者、行政が協働して温暖化対策を推進し、低炭素社会の実現を目指す「STOP!温暖化エコネットしもつま」が主催する「しもつま環境カルタ大会」が2月16日、イオンモール下妻で開催されました。

「しもつま環境カルタ」は、平成22年度に「読み札」を市民から環境に関する標語を公募し、「絵札」は市内中学生が描いたもので、環境に関心を持つきっかけづくりと、環境問題意識の共有を目的に制作された下妻オリジナルのカルタ44枚。

競技には、市内幼稚園、保育園及び小学校から各チーム2名ずつ、63チームの計126名の児童が参加し、読み手の言葉に少しでも早く反応しようとカルタをにらみながら、白熱した戦いを見せていました。

「小学校低学年部門」で優勝した上妻小学校3年の吉田莉織さんと鈴木優花さんのチームは「今回初めて参加して、優勝できてうれしい。休み時間に練習したか良かった。これからも環境のことについて考えていこうと思った」と話してくれました。

平成25年度しもつま環境カルタ大会結果一覧(優勝チーム)

部門	チーム名	学校名	氏名1	氏名2
幼児の部	だいほうチーム	大宝保育園	保科 絢人	田崎 遥菜
1年生の部	男ぐみ	宗道小学校	松本 唯	高野 粹基
2年生の部	りのどかチーム	大宝小学校	稲葉 璃乃	飛田 和花
3年生の部	上小3年チーム「バーニ」	上妻小学校	吉田 莉織	鈴木 優花
4年生の部	M2で倍返しだ!	総上小学校	横倉 未悠	猪瀬 愛
5年生の部	ラッキー∞	下妻小学校	横島 璃子	飯田 雅子
6年生の部	宗道ガールズ	宗道小学校	小澤 咲葵	小川 陽生



素早い動きでカルタを取りに行きます

下妻市まちづくり女性スタッフ 第9期 提言式



稲葉市長へ提言書を提出

女性の視点で行政参画 下妻市まちづくり女性スタッフ 第9期 提言式

“人にやさしい夢のあるまち下妻”を目指して、まちづくり女性スタッフ(第9期)14名の皆さんが2年間、行政やまちづくりについて勉強を重ね、今後の市政運営の一役になればと2月21日、稲葉市長に提言書を提出しました。身近な生活体験から女性の目線で考え、3つのテーマについて提言されました。

提言の概要

- テーマ1 高齢者が安心して生活できるまちづくり**
 - 高齢者が外出しやすく、自立した生活が送れるよう、タクシー利用券の枚数を増やすなど福祉サービスの充実。
 - 相談体制を強化するため、介護アドバイザーの配置など。
- テーマ2 子育てにやさしいまちづくり**
 - 遊具の種類や親子で一緒に入れるトイレ情報が記載された、親子が安心・安全に利用できる「公園マップ」の作成。
 - 子どもから高齢者まで、世代間をつなぐ交流事業の充実など。
- テーマ3 未来へつながる環境づくり**
 - 子どもときから意識啓発を図るため、体験型イベントの開催。
 - ごみ分別がしやすいよう、また外国人にも理解しやすい「ごみ分別辞典」の作成など。



提言書の内容などを説明する女性スタッフ

女性スタッフからは、自動車を持つことができない高齢者の不便さ、福祉の各種サービス内容や利用の仕方を知らない人が多いなどの実情、学校施設の有効活用などの話題があり、その場で稲葉市長が回答するなど活発な意見交換が行われました。

市では、これらの提言を受け、下妻市が活力にみなぎり、ずっと住み続けたいまちになるため、市民と市が信頼しあい協働してまちづくりを進められるよう、提言を市政に取り入れていきたいと考えています。

平成25年度のクリーンポート・きぬダイオキシン類測定結果について報告いたします

測定日	採取場所	測定炉	分析結果
平成25年12月9日(月)	煙突中間部 (排ガス)	1号炉	0.037ng-TEQ/m ³ N
平成25年11月27日(水)		2号炉	0.18 ng-TEQ/m ³ N
国(「ダイオキシン類対策特別措置法」「廃棄物処理法」)の排ガス中のダイオキシン排出基準			1.0ng-TEQ/m ³ N (2002年12月1日から)
クリーンポート・きぬの排ガス目標値			0.5ng-TEQ/m ³ N

※排ガスについて、国の排出基準、及びクリーンポート・きぬ独自の管理目標値を下回る測定結果となりました。

測定日	品目	分析結果
平成25年12月9日(月)	焼却灰	0.012ng-TEQ/g
平成25年12月9日(月)	ばいじん等	0.59ng-TEQ/g
焼却灰、ばいじん等の処理基準		3.0ng-TEQ/g (2002年12月1日から)

※焼却灰、ばいじん等について、国の処理基準を下回る測定結果となりました。

用語の解説

ng (ナノグラム)
ナノは10億分の1の単位。
ngは10億分の1グラム。

TEQ (Toxic Equivalents)
ダイオキシン類の濃度(毒性の強さ)を表示する際に、異性体ごとの毒性強度と存在量を考慮して算出した濃度であることを明示するための記号。

m³N (m³Normal)
圧力1気圧、温度0℃の状態における気圧の体積をm³で表した単位。

問い合わせ 下妻地方広域事務組合
クリーンポート・きぬ
☎43-8822

有料広告欄

有料広告欄

わがやの にんぎもの

このコーナーでは、市内在住の1歳～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【市長公室・広報広聴係 ☎内線1212】までご連絡ください。



ちか ゆう た
山久手千栴・宥太 ちゃん

昌弘・早希子さんの長女・長男 (高道祖)

弟の宥太くんが大好きな千栴ちゃん。
朝起きると、すぐに宥太くんにちゅーをしに行きます。宥太くんはちょっぴり迷惑そう。でも、夜になるとカーテンの中で2人きりで楽しそうな会合を始めます。
ずっと仲良しでいてね♡



いろ は
坂入 彩葉 ちゃん

慶一・佳代さんの長女 (小島)

1歳2カ月の娘です。
最近、歩けるようになったのが嬉しいみたいで部屋の中を歩き回っています。
それに、音楽が好きでリズムに合わせて踊る姿がかわいいです。
これからも元気で思いやりのある子に育ててね♡



いつき あゆむ
須永 樹・歩 ちゃん

慎・梨奈さんの長男・二男 (江)

長男・樹、平成23年10月8日3120g、二男・歩、平成24年11月1日3162g。大きさがほぼ同じくらいに生まれた年子兄弟です。
買い物をしていると、よく双子に間違われるくらい顔も似てきました。
これからも兄弟仲良く元気いっぱい育ててね☆



口頭詩 子どもの純粋な 心のつぶやき



かがみ ゆい
4歳
(下妻保育園)

あしたもこうよう
えんそくに
おおがたバス
たのしかったなあ
きしゃポッポも
たのしかったなあ
ねえ ママ
あしたもいこうよ
えんそくに

【解説】
適足から家に帰って荷物をかたつけていた時に、隣に座って見ていた娘が楽しかった遠足を思い出して、話し始めました。
ちが強いようで、「明日も行こうよ遠足に」と言う娘をかわいいなあと感じながら聞いていました。
採集 母 加賀美栄子

大宝保育園 世界にひとつだけのひな人形



◀年長児の皆さん



年長児が、ペットボトル、紙粘土、和柄の布などを使って、工夫しながら創造力豊かなかわいいひな人形を作りました。「みんな違って、みんないい!!」の大宝保育園の理念にふさわしい「世界にひとつだけのひな人形」が出来上がりました。

みんなの ギャラリー

From SHIMOTSUMA

わたしから あなたへ さわやかに リレー vol.98

前回登場の長谷川勇さんからの紹介



中尾 ひとし 仁 さん(下妻乙)

このまちに生まれ、育ち、学生時代の四年間ほどを除いてずっとこのまちで過ごしてきた。
染物の仕事をしていた父の跡を継いで既に四十年。さまざまなき事があったけれども多くの取引先、知人、友人、家族に支えられて、これまで何とかやってこられたことに感謝している。
私にとってこのまちが生活のベースなのだ。
何かと不便さを感じていたこのまちも、TX(つくばエクスプレス)の開通により、

リ都内へのアクセスが格段に良くなった。年齢を重ねると共に小さな地方都市ではあるが、とりわけ生活の不自由さも感じなくなり、徐々にいいまちだとさえ思えるようになってきた。
サラリーマンだった友人の多くは定年になり、年金を受け取る年齢に達して、悠々自適の生活を始めているが、こちらはまだまだそういう状況にはなれない。
ときには趣味を楽しみながらも出来る限り、もうしばらくはここで今の仕事を続けていきたいと思っている。

市民文芸

俳句
玻璃越しに拝む寝釈迦のうすまぶた 山本 一步(下妻乙)
研なら呼べば帰るを花の旅 鈴木 素香(下妻丁)
石段の陽の眩しさや飾り雛 小竹 善文(五箇)

短歌
二〇二〇年のオリンピックをこの目にて
見む目標に励むリハビリ 渡辺 恵美(下妻丁)
城址の寒の疎林の夕まぐれ散らばる木木を
立哨めかす(駒城址) 寺田 陽子(下妻乙)
溜め池の水ざわめきて水鳥を
追いはらうが如野良犬走る 浅野 悦子(鎌 庭)
ママバレー部員の列なす焼香を
妹の遺影は優しく見つむる 飯泉 淑子(原)
背に負ひし子の重さよりぬくもりの
勝りて唄ふ早春の賦 倉田 淑子(原)
新聞のバズルの柀目が埋る瞬間
今日の一日いい事ありさう 神郡 亜佐(高道祖)
早朝の寒稽古に行く中学生の
白き息はき自転車こぎゆく 関 富喜(下妻丁)
中庭の臘梅の花ほころびて
寒き心をなぐさめくるる 関 千代子(下妻乙)
由紀さおり安田祥子のコンサートに
日本の歌曲をうっとり聴く 外山とく子(下妻乙)

有料広告欄

有料広告欄

相談ごと

◆行政相談

日時 4月11日(金)午後1時30分～3時30分
場所 千代川公民館 1階 小会議室
日時 4月18日(金)午後1時30分～3時30分
場所 下妻公民館 1階 和室
問合せ 市長公室 ☎内線1212

◆人権相談

日時 4月18日(金)午後1時30分～3時30分
場所 下妻公民館 2階 小会議室
問合せ 人権推進室 ☎内線1583

◆こころの健康相談

日時 4月9日(水)・23日(水)
午後1時～4時(予約制)
場所 市役所第二庁舎 3階 小会議室
問合せ 福祉課 ☎内線1573

◆消費生活相談

日時 月・火・木・金曜日(毎週)
午前9時～12時 午後1時～4時30分
日曜日(4月13日・27日)
午前9時～12時
場所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)
問合せ 下妻市消費生活センター ☎44-8632

◆納税相談

・夜間納税相談
日時 4月3日(木)午後5時30分～7時30分
・休日納税相談
日時 4月27日(日)午前8時30分～午後5時
場所 市役所本庁舎 1階 収納課
問合せ 収納課 ☎内線1363～1366

◆法律相談

日時 4月8日(火)・15日(火)・22日(火)
午後1時30分～3時30分
※事前に予約が必要です(当日不可)
場所 8日 市役所第二庁舎 3階 中会議室
15日 市役所第二庁舎 3階 大会議室
22日 市役所第二庁舎 3階 大会議室
問合せ 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142

人口と世帯

3月1日現在の常住人口

	前月比	前年比
人口	43,693人 (-49)	(-341)
男	21,869人 (-15)	(-149)
女	21,824人 (-34)	(-192)
世帯数	15,108世帯 (+8)	(+139)

☎ テレホンサービス

◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111
◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

健康カレンダー Health Calendar 4月1日～4月30日

4/1 火		小 西南
2 水		小 西南
3 木	遊びの広場(10:00～10:30)	小 西南
4 金	ひよびよ教室(10:00～10:30)	小 古河
5 土		小 西南
6 日	在 軽部病院	小 西南
7 月		小 西南
8 火	前期マタニティクラス(13:15～13:30) ママサロン(13:30～15:30)	小 西南
9 水	元気アップ教室(9:30～10:00)	小 西南
10 木	すくすく相談(13:30～)	小 西南
11 金	5か月児健診(13:15～13:30)	小 古河
12 土		小 西南
13 日	在 湖南病院/とき田クリニック	小 友愛
14 月		小 西南
15 火	2歳児歯科健診(13:15～13:30)	小 西南
16 水	パクパク離乳食教室(10:00～10:15)	小 友愛
17 木		小 西南
18 金		小 古河
19 土	セット健診〈健診+胃がん〉千代川公民館 (7:00～10:30) 予約者のみ	小 西南
20 日	在 浅田医院 セット健診〈健診+胃がん〉千代川公民館 (7:00～10:30) 予約者のみ	小 西南
21 月		小 西南
22 火	キッズくらぶベビー&ママ体操(10:00～10:30) セット健診〈健診+胃がん〉千代川公民館 (7:00～10:30) 予約者のみ	小 西南
23 水		小 西南
24 木	1歳6か月児健診(13:15～13:30)	小 西南
25 金	3歳児健診(13:15～13:30)	小 古河
26 土		小 西南
27 日	在 古橋医院	小 友愛
28 月		小 西南
29 火	在 下條整形外科	小 西南
30 水		小 西南

在 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時

軽部病院 ☎44-3761	浅田医院 ☎44-3957
湖南病院/とき田クリニック ☎44-2556	古橋医院 ☎44-2792
	下條整形外科 ☎43-3666

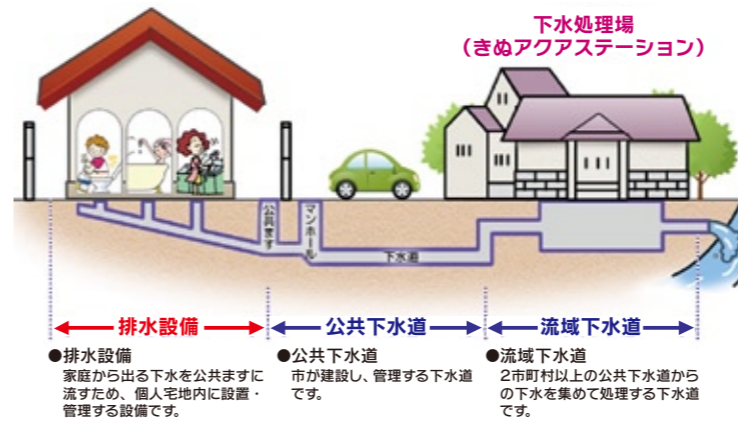
🌙 夜間応急診療所 保健センター内 ☎43-1990

土・日・祝日(1月1日を除く):午後7時～翌朝7時

小 小児救急当番医

月・火・水・木・金・土曜日:午後6時～午後11時
日曜・祝日:午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。
・西南…茨城西南医療センター病院(境町2190)☎0280-87-8111
・友愛…友愛記念病院(古河市東牛谷707)☎0280-97-3000
・古河…古河赤十字病院(古河市下山町1150)☎0280-23-7111



問い合わせ 上下水道課業務係(砂沼浄水場内) ☎44-5311

下水道への接続支援の内容

●工事費補助金	
水洗便所改造資金補助金	供用開始区域において、単独・合併浄化槽、汲み取り式便所から下水道へ接続する場合に交付します。
排水設備整備補助金	最下流合流流枡から公共汚水枡までの区間で20mを越える部分について交付します。上限あり。
●工事資金融資あっせん和利子補給	融資のあっせんにより金融機関から融資を受けた方に利子補給します。 ※上記の接続支援を受けるには、条件がありますので、詳細については上下水道課までお問い合わせください。

きれいな水環境を未来へ

私たちの暮らしの中では、炊事や洗濯、風呂、トイレなどからさまざまな生活排水が出ています。下水道は、家庭や事業所から出される生活排水がそのまま処理されずに河川や海などに流れるのを防ぎ、魚などが住める美しい水環境を守ります。また生活排水を公共下水道へ流すことで、汚れた水が側溝などに流れなくなり、ハエや蚊の発生を防ぎ、清潔で快適な生活環境を確保します。

快適な生活環境を次世代へ引き継ぐためにも、一日も早く公共下水道に接続くださるよう、皆様のご理解ご協力をお願いします。

「やっとすっきりした」。これが実感でした。

新築以来、ずっと気になっていたのが玄関付近の浄化槽でした。毎日、嫌でも目に入るあの分厚いコンクリートの蓋がとて目障りで、定期的な汲み取り等のメンテナンスも面倒でした。今は、その場所を花壇にすることができ景観が見違えるようになりました。

また、隣接している母の家は昔ながらの汲み取り式の便所でした。そのため、臭いと害虫はつきものでしたが、今はそれらの心配もなく衛生的で、洋式トイレにしたこともあり、足腰が衰えた母も快適のようです。

公共下水道に接続したことで、景観もスッキリし、とても衛生的になりました。



公共下水道への接続を支援

公共下水道は、施設をいくらか整備しても皆さんが利用しなければ、何の効果も発揮できません。しかし、公共下水道への接続には、接続工事費などの費用がかかります。

市では、公共下水道への切り替えを促進するため、左記のように宅内の工事費に補助制度を設けています。これらの補助制度を活用のうえ早期接続をお願いします。



受賞で喜ぶ大塚さん(左)、程塚さん(右)

平成25年度「茨城県下水道促進週間コンクール」で入賞!

茨城県下水道促進週間コンクールの表彰式が1月23日、県庁講堂で行われ、新聞部門(応募数173点)で騰波ノ江小学校4年の大塚誠也さん、程塚裕哉さんが「茨城県知事賞準特選」を受賞されました。新聞には「水の循環の中で、下水道はとても大切な役割を果たしており、環境を守るために節水に心掛け、油を流さないなど、僕たちができることは少しでもやっていきたい」などと水を大切にしたい思いが込められていました。

本コンクールは、9月10日「下水道の日」及び茨城県下水道週間にあわせて、県内小・中学生を対象に下水道をテーマとした作品を募集し、下水道に対する理解を深めようと実施しているものです。受賞おめでとうございます。

有料広告欄